

ウィークリーニュースレター37号 2025

<秋の夜長にオススメ本>

今週は読書の秋ということで私が今年読んだ本の中でオススメをご紹介します！
寝る前に読書をするすると睡眠の質が上がるそうです。是非寝る前に読書を！

まずは映画が大ヒット中の原作「国宝」をご紹介します！今年見た映画の中でNo1です！3時間の映画があっという間に過ぎます。主演の吉沢亮と横浜流星の芝居が見事。二人の演技バトルは見応え十分！歌舞伎役者になれるのでは？と勘違いしてしまいます。一貫してこの映画のテーマは世襲です。血の繋がりが絶対である歌舞伎の世界で突如外様の吉沢亮が代役を任される。そこから二人の女形役者の人生の歯車が狂っていく。任侠の世界から歌舞伎へ転身する成り上がり人生を追う映画でした。あまりにも面白かったので原作を購入です。

上巻は映画になぞらえた展開。吉沢亮が親代わりの半次郎の代役を勤め上げ息子の俊ぼんが行方不明に。最終的に血の繋がりが無い半弥が世襲してしまう。すると梨園内ではイレギュラーな世襲を認めず半次郎は主役を張ることが減っていく。下巻がスタートすると映画ではチョイ役の綾乃(吉沢亮の隠し子)が原作では主要人物として登場します。学生時代の荒れた生活から更生するまでを丁寧に描き最終的には結婚まで描写。幸せそうな人生を歩むのですが…何故か主人公の半次郎(吉沢亮)が世間から評価されると周りが不幸になる。この理不尽な展開が読者をヤキモキさせます。ときには怒りの矛先が主人公に向きます。映画にはない不幸話が満載の下巻です。

個人的に好きなキャラクターは徳次です。彼は主役の吉沢亮の付き人のような存在。幼少期から一緒に過ごした任侠出身の彼。彼が下巻で大活躍！彼のような相棒がいると頼もしいなと感じます。

そして是非読んでもらいたいのがラストシーン！人間国宝になった主人公の描き方が別物です。賛否分かれるところですが。私は映画のような終わり方がいいのですが原作は違います。人間国宝という肩書をスティックに捉えたのだと感じました。映画は幻想的。その映像美が映画のラストに相応しいのです。

更に…耳で聞く読書「Audible」での読書もオススメです(笑)原作を朗読するのが尾上 菊之助。本物の歌舞伎役者が朗読してくれます。歌舞伎のシーンは圧倒されます。歌舞伎の世界に引き込まれます。読むのが苦手な人は音声でもお楽しみください！映画、本、音声と3部作で国宝を楽しみました。まだ未体験の人は是非没入してみてください！



<9月の当選番号確定！！当選番号が5個です！>

2022年3月からスタートした納品書番号のおみくじです！今一度、ルールのご説明。納品書の番号が抽選対象の数字です。下の番号と一致した場合、納品書の金額から10%オフします。自動的にオフはしません。お客様から「当選しました！」とメールか電話、LINEでご連絡をいただくと確定です。申告の締切は翌月の1日が締め切りです。「699」「753」「791」「826」「853」最後のチェックを忘れずに！！



株式会社豊吉 LINE 注文アカウント



キッチンカー開業セミナー



豊吉公式 Twitter



株式会社豊吉ホームページ

2025年9月26日

作成者：豊吉正徳